

令和5年宇治田原町議会活性化特別委員会

令和5年2月7日

午後2時00分開議

議 事 日 程

日程第1 中学生議会について

日程第2 ハートウォーミング自治体議会Webサミットについて

日程第3 その他

1. 出席委員

委員長	3番	馬場	哉	委員
副委員長	7番	藤本	英樹	委員
	1番	山内	実貴子	委員
	2番	榎木	憲法	委員
	4番	森山	高広	委員
	5番	山本	精	委員
	6番	宇佐美	まり	委員
	8番	今西	利行	委員
	9番	上野	雅央	委員
	10番	原田	周一	委員
	12番	浅田	晃弘	委員

1. 欠席委員 なし

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局 長	矢野	里志	君
庶務 係 長	重富	康宏	君

---

開 会 午後 2時00分

○委員長（馬場 哉） 皆さん、こんにちは。

本日は、閉会中における議会活性化特別委員会を招集いたしましたところ、委員の皆様にはご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日は、昨年12月18日に開催をいたしました中学生議会及び2月14日に開催を予定しておりますハートウォーミング自治体Webサミットについて協議をいたしたいと思っております。

本日の委員会において、不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ありがとうございます。

ただいまの出席委員数は11名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の議会活性化特別委員会を開催いたします。

会議は、お手元に配付しております会議日程及び資料等により進めさせていただきます。

それでは、これより議事に入ります。

まず、日程第1、中学生議会についてでございます。

資料のほうをご覧くださいと思います。

正副委員長、また事務局で、中学生の生徒さん、参加していただいた方にアンケートをお願いいたしましたところ、快く4名の中学生が応えていただきまして、アンケートの結果がここに書いてございます。

上からちょっとご覧いただきたいんですけども、まず、問1に関していいますと、「まあまあよかった」、「よかった」という声があったと思います。その「よかった」、「まあまあよかった」について、選んだ理由については、ここに記載をしておりますとおり、貴重な体験ができた、議会の雰囲気分かった、こういう声をいただいております。

問3の「今回いただいた質問に対する答弁に、満足していただけましたか。」という問いに関していいますと、「よかった」という方と、「まあまあよかった」、中に「あまりよくなかった」という方が1人いらっしゃいまして、これについては、少し今後の中学生議会の在り方についての反省の点ではないかというふうに考えております。

今年度初めて中学生議会、前年度はコロナ禍により開催できなかったんですが、現在

の中学3年生は、ふるさと納税のいわゆる開発等々で、ほかの中学生の学年さんよりも割と、町の施策に関しては一応認識があったと思いますけれども、来年度、中学生議会を引き続き開催するとして、中学生議会への参加を下級生に勧めますかというこちら側の質問に対して、「勧める」というふうに前向きなお声をいただいた反面、「よくわからない」という声もあったところでございます。

問5の4の質問に対してどういう気持ちで選ばれましたかというお答えなんですけれども、「よくわからない」という方の中で、楽しかったけれども、もう少し自分の意見を言いたかったという声があった点に関しては、今回の反省点ではないかと思います。

また、もし来年もこのような形式でやるなら意味がないのではないかと、質問に対して答弁で否定をされるだけでなく、どういう案があるかなど、前向きな検討をしてほしかったという声があったところでございます。

このように、中学生の意見聴取をさせていただいて、裏面には新聞等々の記事がございますけれども、委員の皆さんの感想、また来年度、仮に同様に開催するとして、こういうところは少し検討し直したほうがいいのではないかとという点があれば、委員の皆様のご意見を頂戴いたしたいと思います。

それでは、質疑に入ります。何かございませんでしょうか。今西委員。

○委員（今西利行） 前日も言ったかと思うんですが、これは私の意見ですが、答弁者が議員ということで、このことは何回か言っていると思うんですけれども、やはり、どう言ったらいいか、うまく言えないんですけれども、ちょっと違和感があると。

ここにも書かれていますが、どういう案があるのか、否定されるだけでなくということもあるんですけれども、なかなか議員として、相手が町に対して言っているわけで、それを責任を持った答弁をするわけですけれども、今回は割と私自身はスムーズにできたんですが、その前のときには、自分の考えていることと少し違ったようなことも答弁しなくちゃならないということがあるので、その辺りいかなものかということで、ほかの人、一般の方々にも聞いてみたんですが、少し違和感ありますねというふうなこともおっしゃっている方もおられました。

その辺り、もうちょっと整理をしたらどうかなというのが1点と、2つ目もいいですか。

○委員長（馬場 哉） どうぞ続けてください。今西委員。

○委員（今西利行） 2点目は、今回、中学生が代表で来たんですけれども、これ可能かどうか分からないけれども、例えば、あの質問は代表者だけでやったのか、それとも、

クラス討議なり学年討議をして一定、その意見を集められて持ってこられたのか、ちょっとその辺、私自身分らないので、ただ向こうのカリキュラムの関係もあるので、そんなに時間を取ることもできないとは思いますが、可能ならば、クラスなり学年で意見を集約して、こういうことを聞いてみようということになれば、少しみんなのものになるかなというのが1点です。

もう一つは、できたら傍聴も、これは希望者でいいと思うんですが、傍聴もできたら、もう少し広がるのかなというのが1点です。

それから、もう一点は、私たち議員としては、今回質問を、ほかの質問も見てみたんですが、何か、確かにたくさん質問されているんですけども、的、焦点が絞れていなかったんじゃないかというふうに思うんです。答弁するほうも、あれだけ矢継ぎ早に質問されて、答える議員の方も大変だったのかなというふうに、私の場合は割とまとまった質問だったので、答えやすかったんですけども、その辺りも議員としてアドバイスなり助言なり、あまり介入するのはよくないと思うんですが、そこは考えてアドバイスせなあかんとは思いますが、そういう形が取れば、なかなか難しいと思いますけれども、意見として、そういうふうなことも議員としてはできるんじゃないかなというふうな、これは意見ですけども、以上です。

○委員長（馬場 哉） ほかに、どなたかご意見は。山内委員。

○委員（山内実貴子） 普段、私たちが議員として一般質問をしているやり方というか、例えば、こういうことを住民の方から聞いて、こういう質問してみようか決めて、理事者といろんな打合せとか話をして、これはこういうふうに聞いていこうとか、これはこういうふうに聞いてもどうかという、そういうやり取りをしていたりとか、また答弁が、あまりいい答弁じゃないなと思うようなことでも、実際はもう少しいろんなやり取りをして、実は今は検討ということやけれども、時期が来たらということもあったりする中で、ああいうふうな質問とか答弁とかになっているという、そういう流れみたいな、普段私たちがやっていることをもう少し中学生の方にお伝えできていれば、もう少し自分の意見が言いたかったとか、そういうことももう少し言っていたのかなということは思いました。

なので、今西委員が言わはったみたいに、ある程度、もう少し絞って質問してもらおうということと、あと、やっぱりそれに対しての答弁がこうやったら、どういうふうに、じゃ次は言ったらいいのかなという、普段私たちがやっていることをもう少しお伝えしていれば、もうちょっと中学生の方も自分の意見も言えて、答弁はなかなか自分が思っ

ているとおりになくても、一定やり取りができたという満足感もあったのかなという  
ことは思いました。以上です。

○委員長（馬場 哉） ほかに何か。森山委員。

○委員（森山高広） 課題という感じなんですけれども、中学生の質問内容が、要望関係  
がどうしても多かったので、答えるときも、どうしても現実的になると、否定から入る  
というところにならざるを得ない感じです。あと、もう一つの点として、山本委員の答  
弁だと特にそうやったんですけれども、要望があまりにもあり過ぎて、答弁と、答えと  
かみ合いにくい感じになっていたのも、事前に1回ぐらいでいいので、できれば中学生  
の方と、議会ではこんな聞き方しているのかも含めて、打合せができれば、もうちょっ  
といいのができるんじゃないかなという感じがしました。

○委員長（馬場 哉） ほかに何か。山本委員。

○委員（山本 精） 僕も、確かに今言われたように、あくまでも質問そのものが、何か  
どういうふうにしたい、本人の希望というか、そういうふうなものが入ってこないのと、  
やっぱり、こちらのももありますけれども、もう少し具体的なことを聞いてもらうと  
いうふうな形での、今言われたように事前の打合せというのがどうしても必要かなと、  
やるんやったら、こういう形でやるとしたら。

それか、我々が一般質問をするような立場に立って、そういう相談を受けて、やっぱ  
り理事者というか、町長か副町長か、その辺のあたりの人にちゃんと出てもらって、そ  
ういう話をよく聞いてもらうと、実際にね。そういう形のものに変えていく必要がある  
かなというふうに、僕としてはそういうふうな感じがしますね。

○委員長（馬場 哉） 藤本副委員長。

○副委員長（藤本英樹） 今回、受験の前の12月に開催したというのが、一つネックに  
あると思うんです。もっと、できたら受験が終わって、卒業式までの間で時間が取れる  
ようやったら、そういう時期に開催したら、さっき森山委員と山本委員が言ってはった  
みたいに、質問の内容と答弁の内容をすり合わせすることができて、もうちょっと建設  
的な答弁ができたんじゃないかなと思うんですけれども、やっぱり今回みたいに、ぽつ  
つと何の打合せもせんとやったら、どうしても要望的なことが主体になりますんで、例  
えば町内にマクドが欲しいとかいうても、そんな簡単にできるものでもありませんし、  
そういうふうになったら、全部否定から入っていかなあかん形になりますんで、そうし  
たら、今アンケートに答えて、問5の最後のところですね、こういう否定されるだけで  
なく、どういう案があるのか、前向きな検討をしてほしかったというのは解消できるん

じゃないかなと僕は思うんです。以上です。

○委員長（馬場 哉） ほかに。原田委員。

○委員（原田周一） 先ほどから出ていますように、問3の最後、「あまりよくなかった」、お一方、それから今、藤本委員が言われたように問5の4つ目、「今回の形式ならやる意味がない、否定をされるだけでなく、どういう案があるのか検討してほしい。」これはさっきから出ているように、やっぱり開催時期の問題が、以前から私も何回か話しさせてもらっているんやけれども、もうちょっとやっぱり検討せんとあかんと。

今回は、恐らく何のすり合わせもなしにやりはったから、どういう質問してええかというのも分からん、中学生が。だから、恐らくああいう形で、多分出てきたん違うかなと。

だから、逆に言うたら、もっと的を絞って、議会ではこういうやり方やっていますよというすり合わせができたら、例えば1人2問とか3問ぐらいで、深くやり取りというんか、またそれが問3の答弁に満足していますか「あまりよくなかった」という、ここへつながると思う。だから、今回みたいなことを何回やっても、そのままこういう形でやっていくんやったら、あまり、ここに書かれているように意味ないん違うかなと。

だから、私が言っていた3年生にこだわらず、例えば忙しかったら2年生とか、そういう形でやって、やる時期も、もっと試験前とか、そんなにならないような方向で、議会活性化特別委員会の委員長、副委員長が窓口になるのであれば、当然中学生の方と何回かのやり取りして、それで質問をやらないと、極端に言うたら、もっと人数が増えたら、質問も今回みたいな総花的になって、じゃ、答え書くほうも何を書いたらええのかというようなことに、ずっとなっていくん違うかなと思うんですね。

それでは、やっぱりやっていて、ああこんなもんかと思われたら余計、逆に議会だけじゃなしに、周りに対して、あまり意味ないことをやっておるなということになりかねないんで、そこはちょっと考えんといかんの違うかなと思いますね。

○委員長（馬場 哉） ほかにございませんか。

暫時休憩します。

休 憩 午後 2時17分

再 開 午後 2時31分

○委員長（馬場 哉） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

ただいま皆さんから、中学生議会については様々な意見を頂戴いたしましたので、今後、正副委員長のほうで、また事務局も含めて、中学校と連絡を取りながら、調整を進

めていきたいと思います。

この件につきましては、ほかにご意見ございませんでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(馬場 哉) ないようでございますので、日程第2、ハートウォーミング自治体Webサミットについて説明をさせていただきます。

資料を引き続きご覧いただきたいと思います。

第2回のハートウォーミング自治体議会Webサミットが、いよいよ来週の2月14日火曜日に迫ってまいりました。今回も前年度と同じように、特産品等々を紹介しながら、またそれぞれの自治体の紹介をしながら、オンライン形式で会議を開催するものでございます。

今回新たに、沖縄県南城市、それから兵庫県市川町、この2つの自治体が初めて参加をしていただくことになりました。本町を含めまして、合計5自治体で開催をするということになります。

日時のほうは、先ほど申し上げましたとおり、2月14日の午前10時からでございます。

資料の2ページをめくっていただきまして、少し細部について詰めた打合せをしたいと思います。

会場につきましては、議長室には正副議長の浅田委員、それから山内委員にお願いをしたいと思います。会議室301につきましては、私、馬場委員と、それから藤本副委員長が会議301に詰めることになります。この委員会室ですけれども、ほかの議員の方々は、この委員会室に詰めていただきたいと思います。

それから、進行については、私と藤本副委員長がサポートをしたいと思います。

開会のあいさつを浅田委員に議長としてよろしく願いいたします。

それから、町及び特産品の紹介ですけれども、特産品の紹介につきましては、上野議員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか、皆さん。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(馬場 哉) よろしく願いいたします。

それから、ハートウォーミングの施策の、いわゆる紹介をしていただく議員さんなんですが、どうでしょう、皆さんからご意見頂戴したいんですけども、本町が自信を持って他自治体に紹介できるハートウォーミングな施策については、皆さん何かご意見ございますでしょうか、これやったら紹介できるよというふうな。それをまずご意見頂戴

したいと思います。浅田委員。

○委員（浅田晃弘） やっぱり独自でやっているというたら、未来挑戦隊チャレンジャー育成プロジェクト、保育所でのああい取組をやっていますんで、その関係やったら、特に胸張っている紹介できるのと違うかなとは思いますがけれども、子育て環境でね。

○委員長（馬場 哉） 今、浅田委員のほうから、チャレンジャー育成プロジェクト、いわゆるふるさと納税の集まった資金で、次世代の子どもたちにお金を投資するという施策についてご意見を頂戴しました。

ほかに何かございますか。原田委員。

○委員（原田周一） 今言われたように、逆上がり全員できるとか、そういうのもあるしね。

○委員長（馬場 哉） 原田委員もおっしゃっていただきましたので、どうでしょう、子どもさんに対してのチャレンジャー育成プロジェクトを、本町のハートウォーミングな施策として紹介するという部分でいくと。よろしいですか。

（発言する者なし）

○委員長（馬場 哉） これを誰にさせていただくかということなのですが、チャレンジャー育成プロジェクト自体につきましては、保育所の子育ての関係なんで、文教厚生常任委員会のほうやと思うんですけども、ふるさと納税のいわゆる集まった資金を子どもたちの施策に使っているという意味でいいますと、総務建設常任委員会になりますので。

できることなら、私、委員長としては、ふるさと納税の資金が集まったのをこういう施策に使っていますということで、総務建設常任委員会の原田委員長のほうに施策の紹介をしていただけたらなというふうに思うんですけども、どうでしょう。原田委員。

○委員（原田周一） 今言うたように、チャレンジャー育成プロジェクトというのかな。一生懸命ポスターも作って、その紹介とか、今委員長が言われたように、結局、ふるさと納税を頑張って、かなり寄附が集まって、それを子育てに使うという方針のもとで、こういう事業をやりましたと。

結果、今の話で、保育所卒業のときには逆上がりが全員できますよというような、なかなか今までやと、1年生に上がっても、逆上がりなかなかできなかったのが、全員できるような形で、そういうので送り出すようなところまでいっているというような成功例を、私は逆に、こういうような保育所のことなんで、できたら山内委員か宇佐美委員あたりが紹介したらどうかと、女の人のほうがいいん違うかなと思います。

○委員長（馬場 哉） 宇佐美委員、何か意見ありますか。宇佐美委員。



○委員（宇佐美まり） 女性とか限らず、私は総務建設常任委員会委員長にお願いしたい  
と思います。

○委員長（馬場 哉） 山内委員。

○委員（山内実貴子） 私は別に誰が、女性、男性かかわらず、ふるさと納税は総務建設  
常任委員会でしょうけれども、子育てにというか、次世代の子どもたちにということで  
特化しているので、文教厚生常任委員会の委員長、副委員長あたりということでもいい  
のかなとは思いますが。

（発言する者あり）

○委員長（馬場 哉） 暫時休憩します。

休 憩 午後 2時39分

再 開 午後 2時42分

○委員長（馬場 哉） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

ハートウォーミングな施策の紹介につきましては、本町でも自慢の施策であります、  
未来挑戦隊チャレンジャー育成プロジェクトを紹介したいと思います。紹介していただ  
く委員につきましては、山内委員に紹介をしていただくというふうをお願いしたいと思  
います。

それから、6番の議長会談というのがあるんですけども、この議長会談については、  
浅田議長によろしくお願いしたいと思います。

それから、3ページ以降の進行について、少し触れさせていただきたいと思います。

3ページから5ページ、6ページについては、進行表を書かせていただいているんで  
すが、前回も開催をいたしまして、皆さんご存じのとおりかと思えます。委員の皆様は  
ここで、それぞれの自治体に対しましての紹介があることに关しまして、何か質疑応答  
があるようであったら、ぜひ探していただきたいと思いますし、前回も私のほうからお  
願いをしているとおり、他自治体に質問ができるように、ホームページ等々で勉強して  
いただいていると思いますので、ぜひ何か質問があれば、よろしくお願ひしたいと思  
います。

何か進行表について、ご意見あればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。  
藤本副委員長。

○副委員長（藤本英樹） これで2回目なんですけれども、あと来年以降どうするかとい  
うのは、どこかで話し合いますか。ホストを持ち回りにするとか。あと開催日時、  
今回も2月14日ですけども、本命はたしかハートの日で、8月10日というふうに

なっていると思うんですけども、そっちに移行するのか。その辺の下準備というか、打合せ的なことは何かできているんですか。

○委員長（馬場 哉） その点につきましては、進行表の6ページの最後のところなんです。議長会談というところがあると思います。

議長会談は、谷口前議長のほうが、前年のサミットの中で、8月10日をハート自治体の日というふうに制定していきませんかという提案を前年されました。それにつきまして、ほかの自治体からも特にご意見なかったのが、今回新たに南城市さんや市川町さんも参加していただいたということなので、8月10日をハート自治体の日というふうにしていきたいと思いますかという確認を浅田委員のほうで、いわゆる議長会談の中でしていただきたいというふうに考えております。

それで、ハート自治体の日というふうにするに制定するのであれば、それぞれの自治体がそれぞれの行政に対して働きかけをしなければ、なかなか取組というのは進みませんので、議長会談の中で、もし他市町のご意見がないようであれば、それぞれの町が8月10日をハートの日と制定して、また行政間の連携ができるように、それぞれの自治体で働きかけをしていただきたいと思いますというところまで議長会談で話をまとめていただければ、あとは事務局等々で詰めもできますし、今質問がありましたように、藤本委員の来年度以降どうするんやというところ辺の方向性というのは、そういう流れであるかというふうに思います。榎木委員。

○委員（榎木憲法） 今、8月10日をハートの日にするという提案をしていくよということなんですけれども、谷口前議長が前のとき、去年、そういうことを投げかけられましたよと。

たまたま私、南城市の広報のカレンダー見たら、8月10日はハートの日ですよというふうに、もう市としてうたっておられるんで、物の言いようというのか、議長として浅田委員が話をどう投げかけていくかが難しいんじゃないかなと思うんですよ。もううちはやっていますよと、そういうことを。ハートの日に制定して、こんなことやりますというのをまちのカレンダーに書いてある、去年の8月も今年の8月も書いてあったよね、見たら。

○委員長（馬場 哉） 暫時休憩します。

休 憩 午後 2時48分

再 開 午後 3時02分

○委員長（馬場 哉） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

南城市がハートの日を既にされていることを踏まえて、当日、浅田委員に議長会談での投げかけをしていただきたいと思います。

ただいま、当日の進行を説明させていただきましたが、先ほども私のほうから提案をさせていただきましたとおり、質疑応答の時間がございますので、ぜひ他自治体の施策をホームページ等々でご覧をいただき、当日、質問1つか2つぐらいは他自治体に対してできるように、皆さんご協力のほう、よろしくお願ひしたいと思ひます。今西委員。

○委員（今西利行） どれぐらいの時間設定をしていただけるのかだけ、ちょっと教えてください。

○委員長（馬場 哉） 質問のほうは、1つの質問に2分ぐらいまでで、よろしくお願ひします。

それで、当日質問される方は、カメラがあそこに設置の予定ですので、この名札を席まで持って行って、誰々ですと、ちょっと市川町さんにお伺ひしますというふうには、名札を持ち歩きながら質問していただきたいというふうには思ひますので、よろしくお願ひします。

（発言する者あり）

○委員長（馬場 哉） 質問、答弁合わせて2分間ぐらいですね。宇佐美委員。

○委員（宇佐美まり） 今の質問のことなんですけれども、この委員会に入るといふか、残るといふか、メンバーといふのは決まっているので、大体その割り振りといふか、全員がホームページ等を見てと、委員長おっしゃったように一人一人が考えてくるのじゃ、かぶるといふ場合もあるので、誰がどこの担当をするといふのを。

○委員長（馬場 哉） 決めたほうがいいと。

○委員（宇佐美まり） 決めたほうが、質問の内容が重なるというふうには思ひますけれども、どうでしょう。

○委員長（馬場 哉） 暫時休憩します。

休 憩 午後 3時05分

再 開 午後 3時08分

○委員長（馬場 哉） 休憩前に引き続き会議を再開したいと思ひます。

当日は、時間の許す範囲で、積極的に質問ができるよう、皆さん独自で勉強していただきたいと思ひます。

集合日時については、2月14日9時30分にお集まりをいただきたいというふうには思ひます。

ほかに何か。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(馬場 哉) 次に、日程第3、その他につきまして、何かございましたら、お願いをいたしたいと思います。ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(馬場 哉) ないようでございますので、これで議会活性化特別委員会を終わります。

本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。

閉 会 午後 3時10分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

議会活性化特別委員会委員長                      馬                      場                      哉